

ワークショップの概要

1 日時

- 第1回：平成29年1月12日（木）13：00～15：30
- 第2回：平成29年3月16日（木）18：30～21：30
- 第3回：平成29年7月5日（水）14：40～16：10

2 場所

- 第1回：エスポワールいわて 3階特別ホール
- 第2回：岩手県民会館 4階第1会議室
- 第3回：岩手県立大学 総合政策学部棟 101教室

3 参加者

- 第1回：県内在住の学生18名
- 第2回：県内外の一般の方12名
- 第3回：岩手県立大学生 8名

[コーディネーター]

- 第1、2回：NPO法人いわて地域づくり支援センター常務理事
若菜 千穂 氏（「岩手の幸福に関する指標」研究会委員）
- 第3回：岩手県職員

4 開催結果

(1)ワークショップの趣旨

- ワークショップを通して、どのようなことに幸福を感じているか、もっと幸福を高めるためにはどうすればいいか、を改めて考えてみること。
- 岩手県のいいところや悪いところなどを見つめなおし、幸福のヒントを考えてみること。

(2)ワークショップの手順

参加者が4～6名の班に分かれ、コーディネーターの進行で、幸福カルテの作成、岩手県の特徴の共有、さらに幸福を高めるにはどうするか意見交換、幸福宣言、全体発表を行った。

主な手順は以下のとおり（詳細は、参考資料3「幸福について考えるワークショップの手引き」を参照のこと）。

①進め方の説明

②幸福カルテをつくってみよう

- 幸福カルテの設問に回答（何を重視し、何に満足をしているのかがわかります。）
- 集計表を作成（総合的な満足度がわかります。）
- 集計表をもとにグラフを作成（重視しているものと、満足しているもののギャップが目で見えます。）

③幸福カルテの結果を話し合おう

- 自分のグラフの特徴を紹介（何を重視しているか、何に不満があるか、など）
- みんなのグラフをもとに意見交換（共通の傾向があるのか、人それぞれなのか、など）

④岩手県の特徴について共有しよう（コーディネーターから説明）

⑤幸福を高めるためにはどうするか考えよう

- 岩手の良いところ（満足）、悪いところ（不満、不満足）を付せん書き出し、班の中で内容を共有

- 「さらに幸福を高めるためにはどうすればよいか」を付せんに書き出し、班の中で内容を紹介
- 自分は「誰の」幸福を高めるために「何」をするかを「幸福宣言」に書き、班の中で発表

⑥全体発表

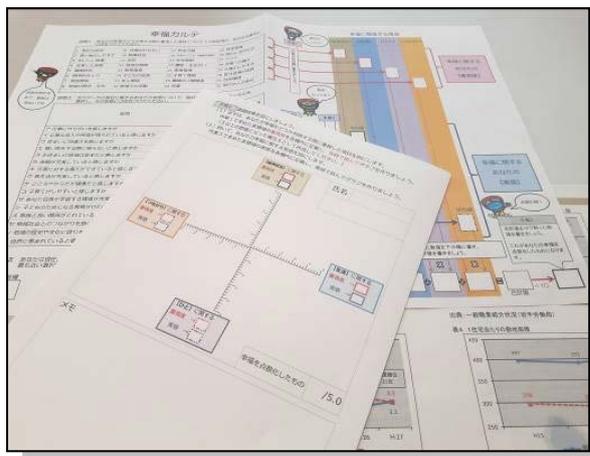
班ごとに「さらに幸福を高めるためにはどうすればよいか」と「幸福宣言」を発表

(3)「幸福宣言」の例

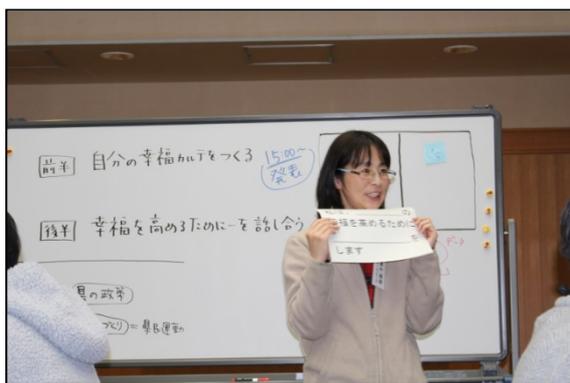
第1回	私	自分	の幸福を高めるために	県内の色々な地域へ旅をします。
		自分		自転車で東北一周をします。
		岩手に来た人		岩手の魅力を体験して発信をします。
		岩手の食の幸福		県外に食の魅力をPRします。
		自分と岩手		岩手のおいしいものをたくさん食べます。
		自分		グルメ探索をします。
		自分		地元の喫茶店巡りをします。
		岩手と自分		街にくりだします！
		自分		自然で遊びます。
		自分		グレンデデビューをします。
		自分		睡眠時間を確保します。
		自分		知らない人に声をかける努力をします。
		つながり		町との関係づくりをします。
		私自身		もっと友達と遊びます！
		自分		活動的になれるよう努力をします。
第2回	は	岩手県民	元気なあいさつをします。	
		お客様	飲食店でバイトをします。	
		自分	就活をします。	
		自分と家族	地域の皆さんの幸せづくりを応援します。	
		子どもたち	岩手・地域・雫石を残します。	
		大好きな岩手	幸福指標を広めます。	
		私と私に関わる人	楽しい事をたくさんします。	
		子育てママ	子育て情報等を広めます。	
		未来の私	後悔しない仕事をします。	
		岩手と地元の人	県や地元の情報発信をします。	
第3回	は	家族	岩手に移住します。	
		私と周囲の人	長生きします。	
		自分と家族	年次休暇をすべて使います。	
		地域	地域行事へ参加します。	
		身近な友達と	いろんなところに遊びに行きます。	
		自分	やりたい事をします。	
		自分	友達とたくさん思い出作りをします。	
		岩手	観光名所に集客をします。	
自分	コンサートに行きます。			
第3回	は	ペット	卒論を書きます。ボランティアもします。	
		岩手	交通網を増やします。	
		自分と岩手県	盛岡で沢山遊び、ずっと住みます。	

(参考) ワークショップの様子

①開始前：資料、計算機などを用意



②コーディネーターから、ワークショップの流れを説明



③各自、幸福カルテを作成した後、意見交換



④岩手県の特徴について紹介

⑤岩手の良いところ、悪いところ、さらに幸福を高めるためにはどうするかについて意見交換



⑥班の中で、幸福宣言を紹介



⑦全体発表

- ・さらに幸福を高めるためにはどうするか意見交換の結果



・幸福宣言



ワークショップのまとめとして、「私は〇〇の幸福を高めるために〇〇をします」という「幸福宣言」を各自記入し、各グループの代表者等に発表してもらいます！

○参加者の感想

- ・ 「幸福カルテ」を最初に行い、自身の幸福について考える方法はとても良い。
- ・ 幸福について考えるのに効果的だった。
- ・ 幸福について意識したり考えることから幸福は始まるので、ワークショップは有意義だった。
- ・ 幸福宣言は、これからこうしたいと考えることができ、とても良い。
- ・ 幸福って何だろう？と考えれば考えるほど、欲はたくさん出てきますが、一番は当たり前の生活をいつも通り送れることだと改めて思いました。
- ・ とても興味深く面白い内容のワークショップだった。ぜひもっと大きな規模でやって欲しいと思った。



○ワークショップの手法に関する主な意見と対応

- ・ 議論の時間は年代に応じて変えてはどうか。
- ・ 短縮バージョン（幸福カルテと意見交換のみなど）があってもいいのではないか。
- ・ 幸福カルテの計算が少し大変だった。早見表があってもいいのではないか。
- ・ 幸福カルテの傾向が似ている者で班編成することも考えられるのではないか。
- ・ 岩手の特徴としては、他の統計データも考えられるのではないか。
- ・ 目的をもっとわかりやすく説明した方がよい。

